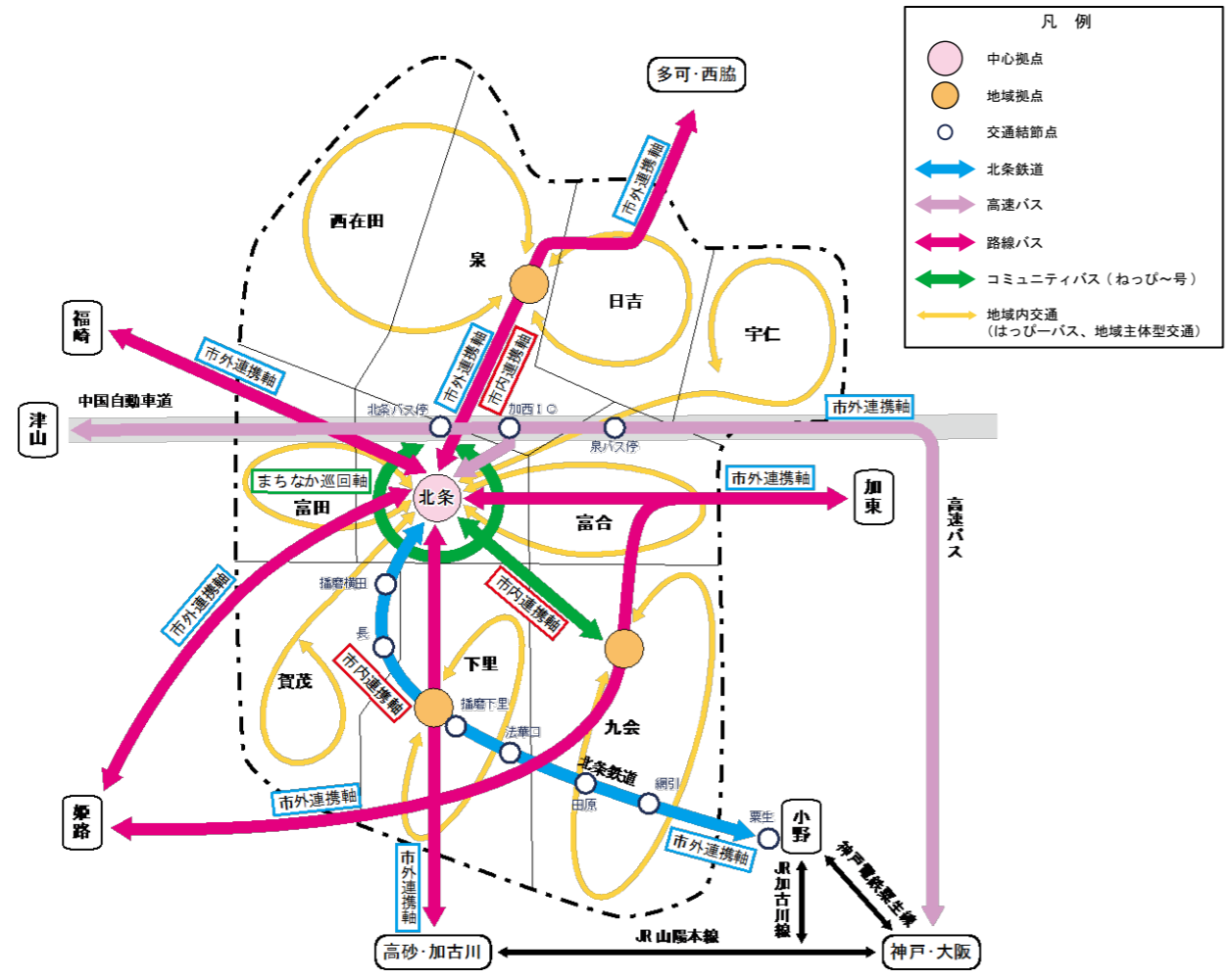


■ めざすべき公共交通ネットワーク(案)

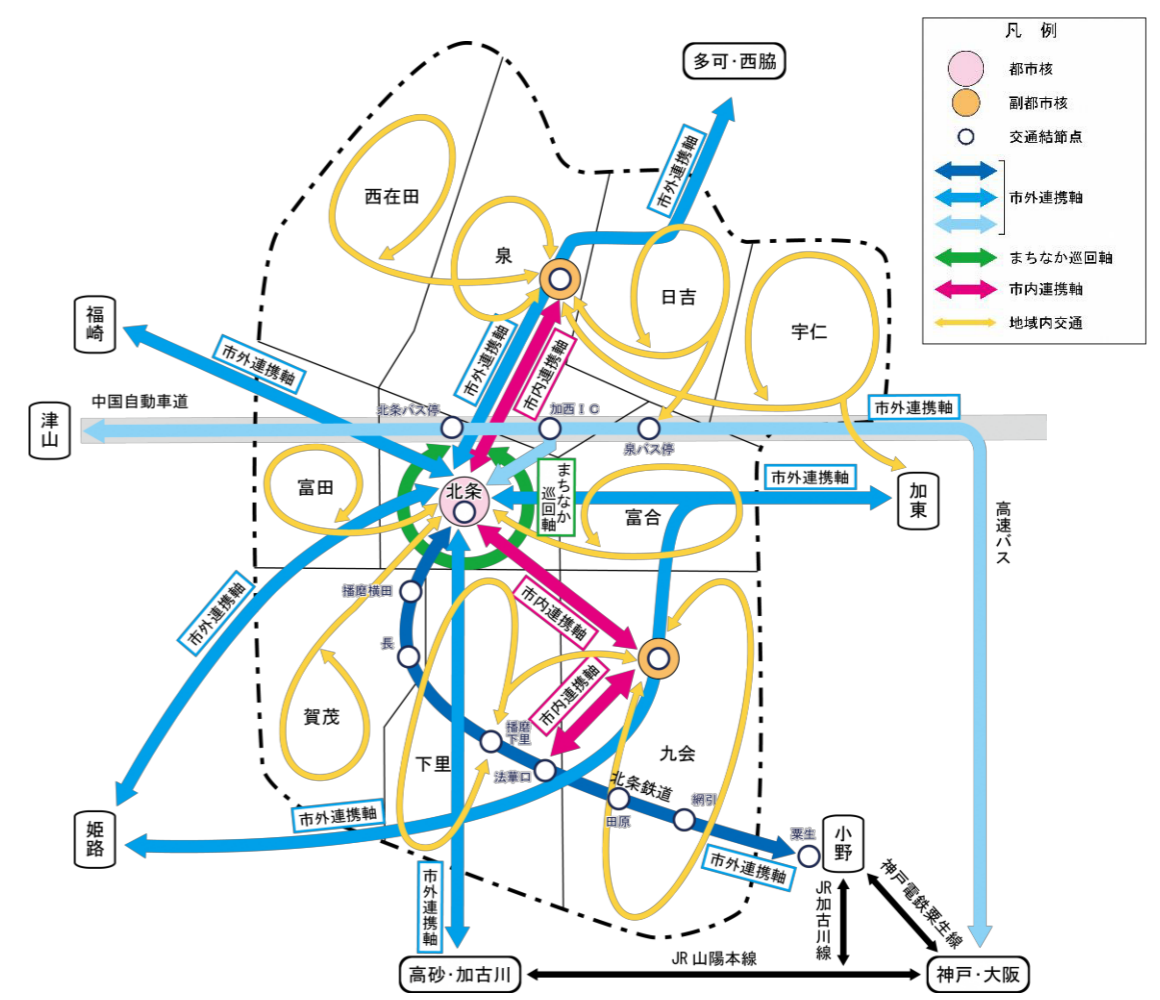
< めざすべき公共交通ネットワーク【現行計画】 >



種別	対応する現在の公共交通機関
1. 市外連携軸	北条鉄道、高速バス、路線バス
2. まちなか巡回軸	ねっぴ〜号(市街地線)
3. 市内連携軸	ねっぴ〜号(国正線、九会線、フラワーセンター線)、路線バス、北条鉄道
4. 地域内交通*	はっぴーバス、地域主体型交通

※) 地域内交通の考え方としては、生活必須施設(買物施設、医療施設、金融施設)までの交通として運行するものである。従って、地区内に生活必須施設がある場合は地区内での運行、地区内に生活必須施設がなく、隣接地区にある場合は隣接地区までの運行、地区内にも隣接地区にも生活必須施設が無い場合は、北条鉄道・路線バス等の他の公共交通との役割分担を図りながら北条地区までの運行を行うものとする。

< めざすべき公共交通ネットワーク【次期計画】 >



種別	対応する現在の公共交通機関
1. 市外連携軸	北条鉄道、高速バス、路線バス
2. まちなか巡回軸	ねっぴ〜号(市街地線)
3. 市内連携軸	ねっぴ〜号(国正線、九会線、フラワーセンター線、sora かせい線)、路線バス、法華口駅〜sora かせい間シャトルバス
4. 地域内交通*	はっぴーバス、地域主体型交通、タクシーとの連携

※) 地域内交通の考え方としては、生活必須施設(買物施設、医療施設、金融施設)までの交通として運行するものである。従って、地区内に生活必須施設がある場合は地区内での運行、地区内に生活必須施設がない場合は、北条鉄道・路線バス等の他の公共交通との役割分担を図りながら北条地区までの運行、もしくは最寄りの副都市核・公共交通軸(上表1.~3.)までの運行を行うものとする。